



No.35

2014 April
[MISA会報 第35号]

- 賀詞交歓会・新春講演会
- MISA新中期事業計画
- 平成26年度MISA事業計画
- 東北ITソリューションEXPO 2013 報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10仙台北辰ビル5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/http://misa.or.jp ■企画・編集/企画・広報委員会 ■印刷/ハリウ コミュニケーションズ株式会社



賀詞交歓会開催

新春恒例の賀詞交歓会が平成26年1月15日（木）パレスへいあんにおいて東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様200名を超える出席のもと開催されました。

はじめに、協会を代表し早坂会長より、新年の挨拶があり、内閣審議官、内閣官房情報セキュリティセンター副センター長の谷脇康彦氏に「ビックデータ時代のサイバーセキュリティ戦略」と題して、日本のICT産業が置かれている環境とサイバーセキュリティ関係の最近の動き等について講演を頂きました。引続き交流会に入り、ご来賓の皆様よりご祝詞をいただいた後、渡辺理事の乾杯の音頭により懇談となりました。

震災の復旧・復興に向けた大変厳しい中ではありますが、新春独特の華やかさも加わり、これまでにない多くの参加をいただき始終和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。中締めは当協会顧問の宮崎氏に三本締めの音頭をとっていただき盛況裏に終了することが出来ました。ご来賓、そして会員の皆様の多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。



新春講演会・賀詞交歓会 会長挨拶

東北インフォメーション・システムズ（株）取締役社長 早坂 栄二



皆さん、新年明けましておめでとうございます。

皆様と一緒にこのように新春を迎えられますことを、まずもお慶び申し上げます。

私は、宮城県情報サービス産業協会それからテレコムサービス協会東北支部の会長を仰せつかっております早坂でございます。

本日は、この両協会共催の新春講演会そしてMISA賀詞交歓会に、ご来賓の皆様を始め多数の会員の皆様にご参加いただきまして、誠に有り難うございます。

また、日頃は私どもの活動に格段のご支援・ご協力をいただき改めて御礼を申し上げます。

さて、日本の経済につきましては、海外経済の持ち直しや円安、消費マインドの改善、積極的な財政出動そし

て第三の矢といわれる成長戦略の実行等により、回復局面にあると言われておりますが、一方では海外、欧州のリスク、中国経済・アメリカ財政の問題等を抱える不透明感から予断を許されない状況にあります。

そう言う中で東北の経済については、震災復興による大型公共事業への投資、そして設備投資の持ち直し、雇用改善等全体的には緩やかな回復基調にあるもののその動きは弱く、アベノミクス効果に期待せざるを得ない状況にあり、しばらくは厳しいのではと思っております。

そういった中ではありますが、昨年は楽天の優勝という明るい話題もあり、力を結集し一つの目的に向かって頑張れば達成できるということを大いに印象付けられました。しかしIT業界のビジネス環境は、地域経済の停



滞からIT投資ユーザー企業が首都圏一極集中となっており、厳しい市場環境にあるのはご承知の通りでございます。

そうは言いましてもICTの位置づけは、社会・経済のインフラとして大変重要な役割を担っていることに変わりはありません。地域IT産業としては直面する多くの課題を一つ一つ克服し、地域経済を牽引する基幹産業になることが大事であり、それによってはじめて地域が活性化され盛り上がるのではと思っております。

MISAは東北最大のICT業界団体として、テレサ協は情報通信事業者を中心とする全国大の業界団体として、いずれも経済産業局、総合通信局そして宮城県、仙台市等の関係当局と非常に密接な協力関係で活動をしているところでございます。

厳しい環境だからこそ産業構造を変える絶好の機会ととらえ、この二つの業界が連携を深め、発想を新たに各種重要課題に柔軟かつ積極的にチャレンジし克服していくことが必要になってきていると感じております。

MISAは一般社団法人へ移行し早くも4年目を迎えました。現在新しい中期事業計画（平成26年～28年度）を策定中ではありますが、これまで積重ねた実績をもとに新たなビジネスチャンスの創出や経営強化に資する施策などを盛り込んで取り組んでまいりたいと思っております。どうか今年も皆様のご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、本日の新春講演会は、現在、内閣官房情報セキュリティセンター副センター長の谷脇内閣審議官をお迎えし、『ビックデータ時代のサイバーセキュリティ戦略』をテーマに、お話を伺うこととしております。谷脇審議官は、セキュリティに関しては幅広い見識をお持ちでありまして、これまでの豊富なご実績・ご経験を基に、大変貴重なお話をいただけるものと思っておりますので、ご清聴の程よろしくお願いいたします。

それでは、今年が皆様にとって良き年になりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。有難うございました。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部長 **滝本 浩司 様**



宮城県は、東日本大震災から2年10ヶ月経ち、県全体としては経済的、活動的にも戻ってきている中にありますが、依然として津波被災地の沿岸部や福島原発の事故に伴う被害地域等はまだまだ復興ではなく、復旧に必死に取り組んでいる状況であり、その一方、復興はしたけれどもなかなか事業がうまくいかない事業者さんも多いと聞いております。さらに言えば東北全体を見ますと電子情報関係の産業が多いわけですが、そういった企業は今、海外との競争に直面し大変苦しい状況にあります。

そんな中、一昨年発足した安倍政権のもと、アベノミクスが展開されており、その効果もあってか、ここ四半期ベースのGDPはずっとプラスが続いている状況になってきております。私ども政府の一員として、こういった取り

組みの経済効果を全国津々浦々に波及させていくことが一つの使命かと思っております。報道を見ますと、昨年の秋以降、アベノミクス効果を浸透させるために賃上げを要請しているようなことがよく取り上げられていたかと思っております。私どももそういった広報をお手伝いして各地を回っていますが、その中では可能な範囲で賃上げをできることからしていただきたいということに加えて、設備投資の拡大や消費増税に伴う価格転嫁もお願いしております。特に設備投資に関しては、賃上げとともに設備投資した方々へは優遇税制を使っていただける制度を用意しているところでございます。

さらに言えば、先ほどの谷脇審議官からお話がありましたように、2016年からは共通番号制度が導入されます。



これはIT業界の方々にとっては一つのビジネスチャンスかといえると思いますし、もっと目先でいえば、消費税アップに対応した各種投資もあるかと存じます。

去年の暮れに決定された補正予算の一つに、ものづくり企業の試作開発を支援する補助金というものも盛り込まれております。これは平成24年度の補正予算にもありましたが、今回は製品を作っているモノづくり企業だけでは

なく、ITを含む商業・サービスまで対象を広げております。現在細かい運用方法等検討中ですが新しいビジネスチャンスとして何か試作・実証等、必要な際にはご活用いただければと思っております。

最後になりましたが、本日お集まりのMISA会員の皆様、そして本日ご臨席いただきました来賓の方々のご健勝とご発展を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

宮城県震災復興・企画部次長 **小林 裕 様**



貴協会の皆様には日頃より本県の情報サービス産業の振興と地域のIT化推進に多大なるご尽力、ご貢献をいただき感謝申し上げます。

宮城県を代表し、三つだけお話しさせていただきます。

一つは、東日本大震災でございますが、この3月で3年を迎えようとしております。この間、国内外の非常に多くの皆様のご支援をいただきながら復旧・復興が進みまして、瓦礫処理はほぼ完了、新たな街づくりの方も本格化しております。それに加え、被災された約1万1,000社の県内商工業者の方々のうち、約86%が何らかの形で事業を再開されている状況でございます。そうは申しましても、事業は再開しても販路を失い、とても再建とは言えない方々もおられるようです。また何よりも10万人近い被災者の方々は今なお仮設住宅などで非常に不自由な生活を余儀なくされておまして、そういうことを考えますと一刻の猶予もできない状況には変わりがないと思っております。宮城県といたしましてなお一層、復旧・復興に向けて全力を傾けていきたいという決意を新たにしているところでございますので、皆様方も引き続きご尽力のほどよろしくお願いいたします。

二つ目は、宮城県情報化推進プランでございます。

本県の情報化推進については、情報関連施策の基本方針及び具体的な取り組みについて情報化推進プランを策定し推進しているところでありますが、現在のプランは今年度がその最終年度となっております。ということで現在、次の新たな3か年プランの策定の準備を進めてございます。その新しいプランの中心は、震災復興となり

ますが、IT関連の事業を通じてどのように復旧・復興に貢献できるかといった内容も取り込む検討もしてございます。近々パブリックコメントの形で広く意見を求めまして最終的に取りまとめる予定としておりますので、皆様方におかれましても、このプランの策定、それからプランの推進にご理解とご協力をお願いいたします。

三つ目は、今年にける期待でございます。

昨年は楽天が優勝し復旧・復興にとりましても大変な勇気と希望を与えてくれました。今年も戦力的には若干の不安がございますが大いに期待したいと考えております。そしてベガルタ仙台をはじめとするスポーツチーム、ソチオリンピックの羽生選手出場、あるいはサッカーワールドカップ開催等、期待の持てる出来事が予定されております。その一方で消費増税等景気浮揚の足を引っ張る要因もございますが、経済界の皆様にはスポーツ以上のご活躍をいただき、消費マインドの落ち込みを抑え復旧・復興の後押しとなるような取り組みをいただくことを切に願うところでございます。

先ほど講演の中でもお話がありましたがICT関連で申し上げますれば、ビックデータの活用や行政分野におきましてもマイナンバー制度化に向けた準備が今年には本格化いたします。そして震災復興に関連する農水産業分野等でのIT活用といった事も可能性が広がりつつあります。ぜひ皆様方におかれましては、これまで以上にITの潜在需要あるいは新規需要を開拓いただきまして、IT業界の底力を発揮していただきたいと思う次第でございます。

県といたしましても、来年度に向けましてできる限りの

財源を確保し、新商品の開発、技術力の向上、人材の育成等の支援策に取り組んでまいりたいと考えております。

貴協会のさらなる発展と本日ご出席の皆様のご健勝そ

して今年がより輝ける年になりますことを祈念いたしまして挨拶いたします。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

仙台市経済局 局長 高橋 裕 様



仙台市の今年の初売りはなかなかのいい出足でございました。また昨日のどんと祭もこれまでの最高の裸参り参加者で街のにぎわいが戻っている感じがいたします。ただ阪神淡路大震災を振り返ってみますと3年くらいまではよかったのですが4,5年くらいから急に景気が落ちこみ、復興需要が低迷、厳しい状況になった経緯がございます。

今回の東日本大震災ではもう少し復興に期間を要しますので、復興需要が続くものと思いますが、皆様方には需要がなくなった後を見据えた新しい事業展開などもぜひチャレンジしていただければと思っております。

この場を借りて二つだけお願いがあります。

一つは、来年の3月に仙台市で国連防災世界会議が開催されることになりそれに向けて今、川内に新しい施設を建設する等準備を進めているところでございます。本会議は、約200ヶ国の首脳の方々が防災について議論するわけですが、それ以外にNGOを含めた関連する方々も当地に来られることで、4万から5万人が訪れるとも言われております。

これはいろんな意味でのビジネスチャンスでもございますし、防災関連システムや減災関連システム等様々な情報関連システムを世界に発信し、その中から新しいビジネスを見出すことも可能となるわけです。ぜひ新しいアイデアがございましたら私どもにご連絡いただければと思っております。

もう一つは、国際リニアコライダーの話です。これは各地で誘致活動を進めています。もし北上山地にこの施設が整備されれば、相当のビジネスが生まれます。ICT関係においても様々な開発がこの地で行われるということですので、誘致活動を含めて皆様方の応援をお願いしたいと思っております。

なかなか厳しい状況にありますが、消費増税やいろんなことを乗り切って、この仙台が東北を牽引していく意気込みで進んでまいりたいと思っておりますので今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが貴協会のますますの発展と本日ご出席の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶いたします。



平成26年賀詞交歓会記念講演 「ビッグデータ時代のサイバーセキュリティ戦略」 (一部抜粋)

内閣審議官 谷脇 康彦 氏



1. 情報通信分野の国際競争力

日本は残念ながら21位、アジアで見ればシンガポールが第2位、韓国、台湾がそれぞれ10位、11位で上位の国は北欧が多い。

北欧は、電子行政や医療の情報化が進んでおり、ICTを社会経済の中でうまく活かしている。日本の場合は、ICTインフラ、ブロードバンドの質、価格の安さなどでは第1位であるが電子行政、医療や教育の情報化が遅れている。要はブロードバンドのハイウェイは整備されているがそこを走る車がまだまだ少ない、あるいはうまく使いこなせていないということでランクを下げている。ここが成長戦略の中での国際競争力の強化策の課題となっている。それから興味深いのはイノベーションキャパシティつまりイノベーションを生み出す力が日本は第1位に評価されている。事実、スマートフォンや 아이폰に入ってるパーツ、部材の4,5割は日本製であり、一つ一つの力は非常にもっている。

そして消費者の洗練度、これもずっと世界1位に評価されています。つまり消費者の目が非常に肥えており、これらに応えるための技術力も持っている。しかし日本におけるIPCサービスはグーグルあるいはサムソンの 아이폰等が占め、日本勢が元気になっていない。企業が革新を進めるスピードは消費者の生活が変化するスピードより速くなっており、ものづくりとサービスづくりをどう組み合わせていくかが非常に重要な課題となっている。

つまり、お客様の満足度と企業の製品進化のスピードをうまく合わせていくことが今求められている。

2. 垂直統合モデルの変革

これまでは端末からコンテンツアプリまで携帯事業者が中心となったネットワークに依存した縦方向に伸びる垂直統合モデルというものをうまく作ってきた。

つまりエコシステムを作ってきた。しかし、アップルやグーグルはこのモデルをかえてしまった。要はネットワークは何でもよく、キャリアに依存しない端末を出している。グーグルの場合は、自社端末というものをほとんど持っていません。アンドロイドOSというオープンなOSの上にアンドロイドファミリーといわれるスマートフォンタブレットの端末部がありキャリアに依存していません。そしてグーグルプレイでグーグルのアカウントを使って認証、課金が行われ、コンテンツアプリが載っています。つまりネットワークに依存しない垂直統合モデルに変わってきたということです。

加えて最近のアマゾンの動きを見ますと、端末にストレージしない、楽曲をためない。ストリーミング系のサービスを見ますと、すべてネットワークの向こう側に私たちが購入したコンテンツがあってストリーミングで送られてくる形になっており、プラットフォーム機能も全てクラウドで提供されています。要は非常にスケールアウトしやすいビジネスモデルになっているということです。

3. 国のIT戦略の3つの柱

一つは安倍政権の成長戦略、第3番目ということですが当然新しい産業だとか新しいサービスを作っていくことが挙げられます。その中でいっの一番にはオープンデータやビッグデータに関するものであり、また農業改革に向け、ITを活用した農業の実現であります。

2つめは安全・安心ということで、重視しているのが健康長寿社会あり、超高齢社会に向かいつつある中で、健康長寿というものが今の政権のキーワードになってきております。そして3つめがワンストップ型の公共サービスの実現です。これも過去10年くらい電子行政だとか行ってきましたが、事実進んでおり

ません。マイナンバーの導入と合わせ、最後の挑戦のつもりで取り組んでいく考えです。

4. オープンイノベーション

とりわけ日本の家電業界はどちらかというと一社単独主義、自社で作った技術というものは全部自分たちのマーケットに出していく、製品にする、サービスするといった発想が強いわけです。ハーバード大学のある先生が言っておりますのは、むしろ優れた自分たちの技術を他社に提供したり、あるいは他社にアイデアを売却して一緒にマーケットを広げていく発想が必要じゃないか。そのためには企業は自社のビジネスモデルをオープンにする。つまりオープンイノベーションの必要性です。この考え方の基本にあるのは、一つのイノベーションが生まれる、技術が生まれたという時に、いわゆるコアコンテンツといった重要な部分は経営戦略としてオープンにしないという発想です。それ以外の部分はなるべくオープンにし仲間作りをしていく、それによって自分のコアコンピタンスも生かされる形になる。

これがオープンイノベーションの考え方になるわけですが、業態あるいは競合他社といった壁を超え、チャレンジしていくことが今、非常に重要になってきているということです。

5. サイバー攻撃の進化

サイバー攻撃というものは、もともと愉快犯、自分の能力を誇示するということが様々な機関を攻撃またはホームページを改ざんするといったものが多かったわけですが、昨今では経済犯罪が増えていきます。とりわけ銀行の偽サイト、企業、原子力安全基盤機構、農水省、JAXA、JETRO、環境省だとか、重要な情報を持っているところが狙われてきております。それから通信ですとか、電力、航空、鉄道といった国民生活に不可欠なサービスを提供している民間部門、重要インフラと呼んでいます。これを狙った攻撃も増えております。アメリカでは2011年以降、この重要インフラを狙ったものが17倍に増えていきますし、韓国ではATMの停止、新聞社機能不全等の例がございました。私も政府の各省庁、霞が関の各省庁の情報システム

にセンサーを埋め込み24時間365日、外部からの攻撃をモニタリングし、解析し対策を講じていますが、感知した脅威が108万件ございました。22年が48万件、23年が66万件ですから急ピッチで増加しております。単純に計算しますと1秒間に2回政府は攻撃を受けているというふうにお考えいただければと思います。このように従来にない高度で執拗な攻撃が増えてきているのが大きな特徴となっております。

6. 標的型攻撃の脅威

標的型メールの接続先を見ますとアメリカが26%、中国が21%等を含め80%が海外であり、国内は20%とほとんどが怪しい海外サイトに誘導される傾向となっております。

経済産業省の調査ですけれども、標的型メール攻撃を受けた経験のある企業は2007年は5.4%でしたが2011年には全体の3分の1に増えていきます。とりわけ関係者を装った社員宛のウィルスメールがほとんどを占めています。標的メールはメールでやってくるわけですから当然ウィルス対策ソフトでは検知しません。うっかりそれを開いたりしますとシステムの中に侵入し直ちに動き回ることなく、システム管理者に近い方向で探索が進められていきます。そして最終的にはバックドアが開かれて情報を搾取し痕跡を消して逃げていく。短いもので50日以上、一番長かったもので3年間侵入されていたケースが実際にご覧いただけます。

従って、入り口で100%防御することは大変困難であり、中に入られてしまうことを前提にセキュリティ対策を講じなければいけないということになります。



MISA新中期事業計画(平成26年度～28年度)が確定

去る3月25日、第9回理事会において新中期事業計画(平成26～28年度)について審議・承認されました。

目指す姿 (Vision)

『ICTの進化を宮城の力に』

ICTビジネスの拡大によって地域経済を盛り上げる

- 会員企業が相互に刺激し合い、学び合い、協力し合う協働組織を目指します。
- 会員企業間、他地域・他産業・官・学との協力・連携によって新たな風を起こし、ICTビジネスの拡大をとおして地域の発展をリードする地域貢献組織を目指します。

Vision実現に向けた枠組み



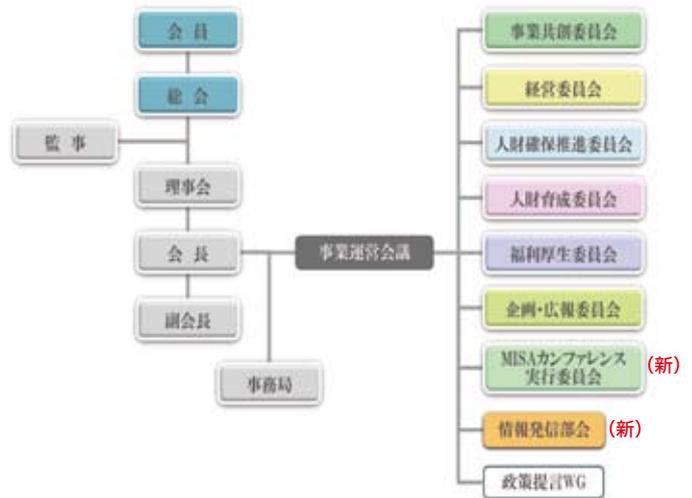
MISAの取り組むべき課題

- 産学官の連携・協力の強化によるビジネスチャンスの創出拡大
- ICT産業自からの成長・発展による地域経済の活性化
- イベント開催・情報発信・体制強化によるMISA存在感アップ (カンファレンス実行委員会及び情報発信部会の新設)

重点テーマと担当組織



組織体制



東北電力企業グループ

東北地域の発展に向け、IT面から最大限に貢献し、
 その情報システムをしっかりと支え、キッチリ守ります。
 これまでも、そしてこれからも。



TOINX 東北インフォメーション・システムズ株式会社

トインクス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目 9-10 セントレ東北

Tel.022-799-5555

Fax.022-799-5561

<http://www.toinx.co.jp/>

平成26年度MISA事業計画

委員会名	4月	5月	6月	7月	8月	9月 (一般社)
企画・広報委員会			・理事会(第10, 11回) ・第3回総会 ・講演会		・顧問・参与懇談会 ・事業運営会議(H26第2回)委員会	
経営委員会	・法的問題対応研修セミナー ・IT産業構造変化への対応 ・MISA会員企業の現状調査の分析・フォローアップ ・経営強化 ・経営者や経営幹部が学び合う場の提供(実施内容検討) ・親睦ゴルフ大会(春季)	・MISA交流サロン 委員会	・調査実施方法項目検討 ・(準備)	講師依頼 ・Misaliy女性交流会 委員会		・法的問題対 ・MISA交流サロン 委員会
人財確保推進委員会	・企業説明会・業界研究会等 (1)会員企業説明会(学外会場) (2)業界・企業研究講座の実施 (3)会員企業の採用力強化に向けた取組 ・産学協同実践的IT教育事業(開校準備作業) (講師派遣企業募集) ・インターンシップ推進の産学連携強化(随時対応)		(随時対応) (随時対応) (随時対応) ・(実践的IT教育訓練 + インターンシップ)	・MISA IT企業就職合同ガイダンス開催(学外)		(①大学・高専生・専門学校生・留学生向け) (②中学生・高校生向け) (企業見学 & 懇談会)
人財育成委員会	・新入社員向け研修(認定職業訓練) ・中堅社員向け研修 ・技術研修(技術向上セミナー) ・次世代交流会 ・グローバル人材育成	研修実施 (準備)	・新入社員研修・特別企画 ・中堅社員向け研修(1) ・次世代交流会(1)	・中堅社員向けセミナー (準備)	・フォローアップ研修 (次年度計)	・中堅社員向け ・次世代交流会 委員会
福利厚生委員会	・交流・レクリエーション関連 ①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③若手/中堅社員の交流企画・検討 ・ヘルスケア ・福利厚生事業の広報活動(HP、情報誌等活用による広報展開)	①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③若手/中堅社員の交流企画・検討	・フットサル開催(夏大会) ・船釣り大会①	・企画検討会		・企画検討会 委員会
事業共創委員会	・異業種研究会(交流会)への参加 ・ビジネスマッチ活動 ・事業テーマ別研究会(ITコーディネータ連携) ・ " " (大学・行政との連携タスク) ・ " " (新研究会テーマ)農工商等連携研究会	・StartUP_Weekend_SENDAI	(フロネシス2008自主活動への参加)	・仙台フィンランド健康センター視察		・異業種交流セ ・StartUP_Weekend_SENDAI 委員会
震災復興支援	・他団体との連携によるITモデル化推進、アライアンス事業の検討推進等					
組織基礎強化	Vision推進会議の設置					ビジョン推進会
行政機関連携	行政機関との連携強化					
事業運営強化	IT人材育成事業の推進(緊急雇用創出事業関連)		・IT業界次世代人材育成事業他			
カンファレンス実行委員会		(開催内容の検討)	実行委員会	実行委員会	実行委員会	
情報発信部会	(協会情報誌の戦略的活用(協会パンフレット)、会員企業データベースの戦略的活用、MISAホームページの戦略的活用、MISA SNSの戦 ・情報誌発行(第35号) 部会	部会	部会	部会	部会	部会

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
団法人)						
				・理事会(第12回) ・賀詞交歓会 ・講演会		・理事会(第13回) ・事業運営会議 (H26第4回)
		・事業運営会議(H26第3回) 委員会				委員会
応研修				(報告) →	・第4回ビジネスフォーラム	
		・体質強化セミナー実施	(実施結果検討・評価) →			(報告) →
	・親睦ゴルフ大会(秋季)			・Misaliy女性交流会		・MISA交流サロン
		委員会				委員会
				() ・MISA IT企業就職合同ガイダンス開催(学内)		
け)				(成果発表)		
		(成果発表会&修了証授与式)				
	委員会	委員会			委員会	
画検討)			○会員アナウンス		(準備)	
研修(2)	(準備)	(準備)	・中堅社員研修(3)			
(2)	・技術向上セミナー	(準備)	・次世代交流会(3)			
	・中堅社員向けセミナー2					
	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会	委員会
	・船釣り大会②	・フットサル開催(秋大会) ・企画検討会		・企画検討会	・メンタルヘルス・セミナー	
				(準備) →		
	委員会	委員会		委員会	委員会	委員会
ミナー		・StartUP Weekend SENDAI				
	委員会		委員会		委員会	委員会
議						ビジョン推進会議
	イベント開催 →		評価・まとめ →		次回開催検討	
	・出展者説明会 実行委員会					
略的活用、MISAカンファレンスに向けた広報活動等)						
	・情報誌発行(第36号) 部会	部会	部会	部会	部会	部会

『第3回ビジネスフォーラムin宮城』開催 —復興∞IT(クラウド)∞地域カー—

平成26年2月20日（木）13:00よりホテルモンテレ仙台において、MISA主催、JISA後援による“地域医療（福祉・介護を含む）”をテーマに標記フォーラムが開催されました。

地域のIT化促進には、地域におけるユーザー、ベンダー、コーディネーター、行政関係機関等の連携が不可欠になっています。また、クラウド時代の到来は、地域ITベンダーのビジネスモデルを変える絶好の機会であると同時に、IT活用促進は地域経済の自立化に欠かせない技術要素となっています。

そこで本フォーラムでは、IT活用等による先進医療分野の先駆者である東京大学大学院情報学環長の須藤 修氏より「ICTイノベーションと地域医療」と題しての基調講演、産・学・官のパネラーによる「地域医療の担い手を繋ぐIT企業の役割」をテーマにしたパネルディスカッションがあり、各立場でのご意見をいただきました。参加者は120名と定員を上回り盛況裏の開催となりました。



『東北企業就職フォーラム』開催

2013年12月14日（土）岩手県立大学において東北企業就職フォーラムを開催いたしました。

フォーラムの開催内容は前半が講演会、後半が合同企業説明会となっております。講演会では(株)オフィス55 代表取締役 高木茂氏、(株)クロスキャット 仙台支店 支店長 伊藤 隆 氏、(株)サイエンティア 取締役社長 荒井 秀和 氏のご講演をいただきました。

講演内容は現在の就職活動の動向と実際に活動を行うにあたっての心構えについてで、講演を聴いた学生からは、「大変参考になった。」、「中小企業には大手企業に負けない魅力があることがわかった」といった感想を聞くことができました。

後半の合同企業説明会では、仙台の企業を中心に29社、1団体のブースに対し、81名の学生が参加しました。緊張しながらも積極的に質問したり、説明をメモしたりと、いよいよ始まった就職活動に真剣に臨む姿が見られました。

合同企業説明会の終了後は、参加企業と学生が参加する懇親会を開催いたしました。

説明会ではできなかった一歩踏み込んだ質問をするなど、企業と学生が交流するよい会となりました。



第5回 MISA会長杯フットサル大会(オープン大会)

福利厚生
委員会

第5回MISA会長杯フットサル大会のオープン大会を11月9日(土)、スポパーク松森フットサルプラザで開催しました。

この大会はオープンクラスで募集させて頂き、8チーム総勢80名の参加となりました。参加された方のご家族や大会事務局のメンバーを加えますと100名近い方々にお集まり頂いたのではないのでしょうか。実際は12チーム募集したのですが、各社さんの秋のイベントに重なったためか8チームの参加となりました。

大会自体はどの対戦もハイレベルの戦いで、見ている方も手に汗握る、ハラハラ・ドキドキものでした。今回優勝チームのSRA東北さんは、メンバーが6人の少数精鋭部隊で、常勝のTOiNXさんをPK戦の末に破りオープンクラス初優勝を飾りました。この2チームは偶に練習試合をやっているようで、相手選手の癖や戦略もある程度分かっているため、戦いにくい相手同士だったのではないのでしょうか。

また今大会は初の試みとして、大会終了後、全チームから公平にくじで選ぶMISA賞(3つ)を追加しました。MISA賞は成績とは関係なく運で勝ち取れるので大変盛り上がりました。

平成26年度はビギナーとオープンの大会を同時に夏(6月下旬)と秋(11月初旬)の2回予定しています。これまで以上に多くのMISA会員企業の方々に参加していただけるように企画/運営しますので、皆様方の積極的なご参加方よろしくお願いたします。



オープンクラス結果

優勝：SRA 東北株式会社
準優勝：東北インフォメーション・システムズ株式会社
3位：NID 東北
コンソレーション：株式会社 SJC
エンジョイ賞：NEC ソフトウェア東北株式会社

敢闘賞：東北インフォメーション・システムズ株式会社、
SRA 東北株式会社
富士通エフ・アイ・ピー株式会社
ブービー賞：株式会社アート・システム

平成25年度 第25回MISA 親睦ゴルフ大会の開催

経営
委員会

■開催日：平成25年10月19日(土) ■場 所：西仙台カントリークラブ

春と秋の年に2回行われるMISA親睦ゴルフ大会も今回25回を迎え、12組46名が参加し日頃の腕前を競い合い、和気あいあいと会員の親睦を深めるゴルフ大会となりました

【成績】(敬称略) グロス

優勝：龍田 勝利 (92) (一社)宮城県情報サービス産業協会 顧問
準優勝：前島 興範 (85) USOL 東北(株)
第3位：久保田秀一 (82) (株)テスプロ
第4位：矢口 亨 (79) 東北インフォメーション・システムズ(株)
第5位：河野 稔 (94) テクノ・マインド(株)



アレテーポップ
ARETE POP

920MHz帯対応/特定小電力(200mW)

スマートフォン  やタブレット  のイヤホンジャックに装着する
ポケットサイズの新型UHF帯RFIDリーダライタ

接続可能OS: Apple® iOS 6.0、Android™ 2.3.3以上

TSS 東北システムズ・サポート
<http://www.tss21.co.jp/product/rfid/aretepop/>



〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-3-14 TSSビル
TEL.022-259-9804(代)
FAX.022-259-8222



棚卸や検品を
スピーディーに!

チャレンジIT・進化の先を見る!

東北ITソリューションEXPO 2013

10月29日(火)・30日(水)

10:00 ▶ 17:00

アエル5階 多目的ホール、他

仙台市青葉区中央1丁目3-1 (JR仙台駅西口 徒歩3分) TEL.022-724-1200

主催 一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 (MISA)

共催 宮城県中小企業団体中央会、東北情報通信懇談会、
(一社)組込みシステム技術協会 (JASA)

後援 総務省 東北総合通信局/経済産業省 東北経済産業局/宮城県/仙台市/宮城県高度情報化推進協議会/(公財)みやぎ産業振興機構/(一社)東北経済連合会/仙台商工会議所/(一社)情報サービス産業協会/東北地域情報サービス産業懇談会/(一社)青森県情報サービス産業協会/(一社)岩手県情報サービス産業協会/(一社)秋田県情報産業協会/(一社)山形県情報産業協会/(一社)福島県情報産業協会/(一社)みやぎ工業会/(株)日本政策金融公庫仙台支店 中小企業事業/仙台銀行/(株)仙台ソフトウェアセンター (NAVIS)/東北IT産業推進機構/河北新報社/日本情報振興協同組合 (JIA) 東北支部/NPO法人JASIPA/(株)BCN

開催概要

名称 東北ITソリューションEXPO 2013

日時 2013年10月29日(火)10:00 ~ 17:00
30日(水)10:00 ~ 17:00

会場 アエル5F多目的ホール・6Fセミナールーム(1)(2)
仙台市青葉区中央1丁目3-1 (JR仙台駅西口 徒歩3分)
TEL.022-724-1200
<http://www.siip.city.sendai.jp/netu/>

主催 一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 (MISA)

共催 宮城県中小企業団体中央会、
東北情報通信懇談会、
(一社)組込みシステム技術協会 (JASA)

**後援
及び
協賛** 総務省 東北総合通信局/経済産業省 東北経済産業局/宮城県/仙台市/宮城県高度情報化推進協議会/(公財)みやぎ産業振興機構/(一社)東北経済連合会/仙台商工会議所/(一社)情報サービス産業協会/東北地域情報サービス産業懇談会/(一社)青森県情報サービス産業協会/(一社)岩手県情報サービス産業協会/(一社)秋田県情報産業協会/(一社)山形県情報産業協会/(一社)福島県情報産業協会/(一社)みやぎ工業会/(株)日本政策金融公庫仙台支店 中小企業事業/仙台銀行/(株)仙台ソフトウェアセンター (NAVIS)/東北IT産業推進機構/河北新報社/日本情報振興協同組合 (JIA) 東北支部/NPO法人JASIPA/(株)BCN

**入場
者数** 2日間のべ 1,483名
展示ブース 787名
(一社)組込みシステム技術協会による基調講演 110名
(株)BCNによる“BCN Conference 2013 in 仙台” 321名

**開催
主旨** 本EXPOでは、地域のITベンダー、メーカーが自ら扱う広範なシステム製品の展示やプレゼンテーションを行うことにより、技術の交流や地域ユーザーの様々なニーズに対し、最適なソリューションサービスを提供することを目的として開催いたします。今年は「チャレンジIT・進化の先を見る」をキャッチフレーズに多くのIT関連企業の方々に参加いただき、東北のIT力をアピールすることにより、強い地域力を発信すると共に積極的なソリューション展開を図り、地域・社会の活性化と東北復興・再生に貢献してまいります。

そして、本EXPOを通じ、お客様とのビジネスマッチング機会の創出やIT関連企業同士のコラボレーションをより一層深め、情報通信技術の更なる発展・普及と地域におけるIT利活用の促進に寄与していくこととします。

内容

1.展示ブース

出展社数:36社(団体)
コマ数:69コマ
参加人数:787名 2日間のべ

2.イベント

(一社)組込みシステム技術協会による基調講演
羽田野氏講演 参加人数:63名
芳賀氏講演 参加人数:47名

(株)BCNによる“BCN Conference 2013 in 仙台”
参加人数:321名

出展者交流会

参加人数:74名

3.プレゼンテーションセミナー

プレゼンテーションセミナー
参加人数:265名
10月29日(火) 参加人数:150名
10月30日(水) 参加人数:115名

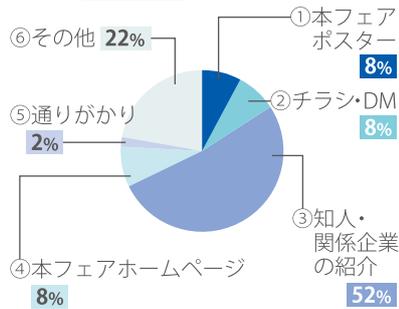


東北ITソリューションEXPO 2013報告

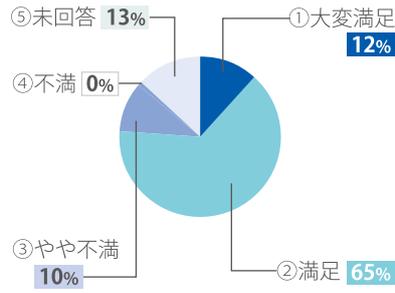
来場者アンケート

Q1 本フェアを何でお知りになりましたか？

複数回答可

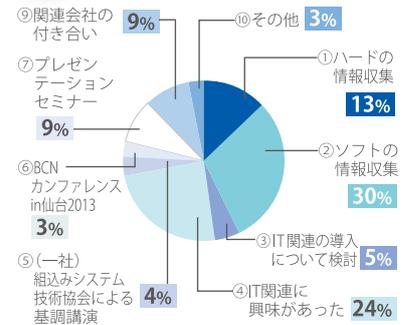


Q2 本フェアをご覧になっていかがでしたでしょうか？



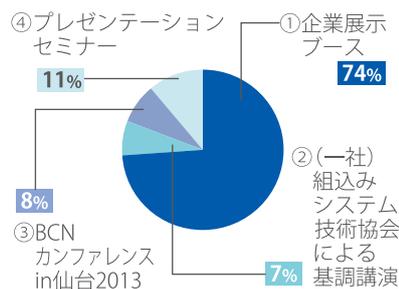
Q3 ご来場の目的は何ですか？

複数回答可



Q4 どちらをご覧になりましたか？(参加されましたか？)

複数回答可

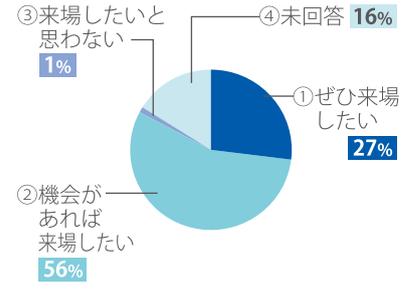


Q5 企業展示ブースに興味を持った出展企業名をご回答下さい。

複数回答可

01. 東北インフォメーション・システムズ(株)
02. (株)東北システムズ・サポート
03. イートス(株) / BCNカンファレンス
05. EIZO(株)
06. (株)テンダ
07. 日本アバカス(株)
08. NECソフトウェア東北(株) / (株)シー・エス・イー
10. テクノマインド(株) / キーウェアソリューションズ(株)東北支店

Q6 次回も来場したいと思われませんか？

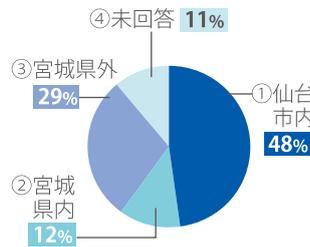


本フェアについてのご意見・ご感想・ご要望

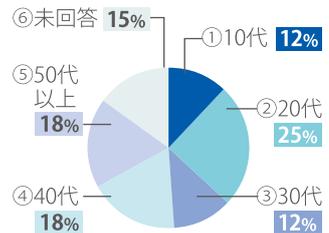
(一部抜粋)

- 多くの企業があり、話しかけてくれるので見回りやすかった。
- クラウドやセキュリティが多く、もっと色々なジャンルを見たい。
- 来場者が少ない。IT企業の来場が多い。学生の来場が多い。
- 近寄りたいたい所があった。自分の勉強不足もあるが、もう少しだけ説明をしてほしかった。
- 様々な目的の商品があり、自身の視野を広げる意味でとても参考になりました。
- 地場のICT企業をより知るきっかけとなると感じました。またの開催を期待しております。
- スマートフォンの普及にともない、より多くのアプリケーション開発に触れられたらと思う。具体的にはスマートフォンを外部デバイスとして使用するハードウェアの展示など。
- 企業展示ブースにあまり人がいない。同じような内容が多い。画面をみるだけでなく、物を実際にさわらせてほしい。
- 非常に有意義でしたが、次回はもっと企業数が増えると嬉しい
- 同業の人達のみ集まっている印象があります。(今回に限らず)もっと異業種の人達に展示会の存在を知ってもらう必要があると感じます

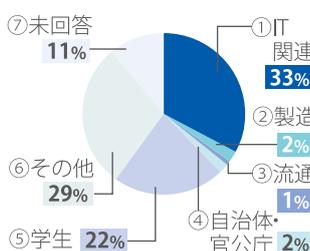
Q7 お住まい



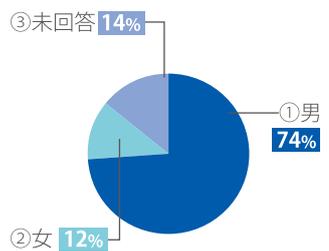
Q8 年齢



Q9 職業(ジャンル)



Q10 性別



新入会員紹介 (平成25年10月1日以降の入会)

正会員-入会 賛助会員-入会

会員数 (正会員・・・147社 賛助会員・・・34社)

入会日	会員名 (代表者名)	住 所 TEL・FAX
4月1日	(株)アイティフラッグス (代表取締役 小熊 泰介)	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-14 ハニックス第2ビル3F TEL 022-302-7595 FAX 022-212-8280
4月1日	(株)ウイングアーク1st (東北営業所所長 東島 弘昌)	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-10 仙都会館ビル6F TEL 022-217-8081 FAX 022-217-8082
4月1日	(株)エスリゾーム (代表取締役 松井 謙蔵)	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-1-8 第一広瀬ビル7F TEL 022-268-6881 FAX 022-268-6530
4月1日	トリオシステムプランズ(株) (仙台システム部長 渡辺 達也)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-5-15 橋本地所仙台榴岡第2ビル TEL 022-292-3606 FAX 022-292-3607
4月9日	(株)イーエムエス (代表取締役 折居 進)	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-10-33 第2日本オフィスビル5F TEL 022-796-1750 FAX 022-796-1751
10月19日	清野経営事務所 (代表 清野 浩司)	〒981-3341 黒川郡富谷町成田6-30-4 TEL 022-348-3566 FAX 022-348-3566
10月22日	(株)畠山デザイン事務所 (代表取締役 畠山 敏)	〒980-0804 仙台市青葉区大町2-913 TEL 022-262-1648 FAX 022-262-1650
11月12日	b.mode合同会社 (代表 三浦 哲志)	〒980-0021 仙台市青葉区中央2-10-1 第2勝山ビル4F TEL 022-796-2575 FAX 022-796-2576
11月12日	スタジオラバン (社長 男澤 亨)	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-12-55 NAViSビル1F TEL 022-395-4912 FAX 022-774-1491

(敬称略)

編

集

後

記

大震災から満3年が経過しましたが、前回(2013.9第34号)から振り返りますと、地元に関する明るくうれしい出来事が多かったように思います。

ひとつは今年度のシーズンがスタートしましたが何とんでも東北楽天イーグルスの優勝ではなかったでしょうか。負けなし24連勝の田中マーくん活躍をはじめバランスのとれたチーム力で創設9年目にしてジャイアンツを破っての日本一は日本中に感激と勇気をもたらしたのではないのでしょうか。私も優勝パレードの22万人の一人として参加しましたが「おめでとう」のことばより「ありがとう!」という歓声が圧倒的に多くその輪の中に

いて自然に涙があふれてきました。今年も連覇を期待しながら応援したいと思っています。

ふたつめは現在緊張が続いているウクライナの近くのソチで開催された冬季オリンピックでの日本選手の活躍ではなかったでしょうか。その中でも地元出身の羽生結弦選手の男子フィギアスケートの優勝はこれまた世界をそして日本国内を沸かせた大きな活躍でした。今までの日本人のこの種目の獲得した二つの金メダルが二人ともこの仙台出身ということは我々地元の人間にとって大きな誇りと自慢になります。

(高橋)